

1 - 2010 年の世相を振り返る

Wikipedia より

1月12日 - 国内で羽田空港の新管制塔が運用開始。

5月 - アメリカ軍普天間基地の移設問題で鳩山由紀夫首相が沖縄を訪問。分散移設する方針を表明。

5月14日 - スペースシャトルアトランティス号の最終打ち上げ。日本人搭乗者なし。

6月2日 - 内閣総理大臣鳩山由紀夫が民主党臨時両院議員総会の席で退陣表明。小沢一郎民主党幹事長も同時に辞任。

6月8日 - 菅直人が第94代内閣総理大臣に就任。

7月11日 - 第22回参院選が実施され民主党が惨敗、自民党が勝利。与党が過半数に届かないねじれ国会へ。

7月29日 - 東京都足立区の111歳とみられる男性のミイラ化遺体発覚により、所在不明高齢者問題に発展。

8月5日 - コピアポ鉱山落盤事故＝チリ共和国アタカマ州コピアポ近郊のサンホセ鉱山崩落事故。(現地時間) 33名の男性鉱山作業員が閉じ込められる。

8月15日 - 東京理科大学ワンダーフォーゲル部の遭難事故が発生。3人が遺体で発見される。

8月18日 - 海上保安庁のヘリが墜落。乗っていた5人全員が死亡。

9月7日 - 尖閣諸島中国漁船衝突事件

9月15日 - 政府・日銀が、東京外国為替市場で為替介入を実施。市場でドルを買って円を売ることで相場を円安方向に操作する市場操作を為替介入と呼ぶ。

10月13日 - コピアポ鉱山落盤事故から69日後(現地時間)に全員が救出。

11月4日 - 尖閣諸島中国漁船衝突映像流出事件

11月23日 - 北朝鮮軍が韓国・延坪島に対し122多連装ロケット砲による170余発の砲撃。韓国兵士2人が死亡、4人が重傷。民間人2人が死亡、4人が負傷。民家60件以上が延焼。韓国軍はk-9自走砲により80余発の対応射撃を行った。

11月28日 - アメリカ外交公電ウィキリークス(WikiLeaks)流出事件。匿名により政府、企業、宗教などに関する機密情報を公開するウェブサイトで合衆国の機密情報が漏洩。

前半は、比較のおだやかでした。

2010年は、木星が魚座と牡羊座の間を往来すること、さらに木星-土星の対角に近い位置関係のが特徴的な年でした。

5~6月普天間基地移設問題、内閣動乱と不穏な日々が続き、国内の政治に対する不信感が急騰。

6~8月の政変や大きな事故にも、木星の移動と、木星-土星の対角に近い位置関係が象徴されていると言えそう。

そして、9月以降、対外的・軍事的な問題へと内閣が巻き込まれ、さらに人々が不安になっていくように流れていきました。

後半以降、「流出問題」が目立ちました。

2 - 2010 年の世相を振り返って

まず初めにもう少しさかのぼってみると、2007 年のサブプライムローン問題、大手投資会社の倒産・リーマンショックなど世界的金融不安が痛烈だったこの数年。国内では中央政権の衰退と地方自治勢力の伸びに注目が集まってきたと言えるでしょうか。世界に目を向けると、**2009 年、木星は水瓶座に位置し**、アメリカでは初の黒人大統領、バラク・オバマ氏が期待の新星の如く登場。11 月大統領選挙で勝利し、私たちに夜明けの到来を感じさせてくれました。とは言え、世界的な不況はそう簡単に改善されず、オバマ大統領も苦戦続きで、2009 年のノーベル平和賞受賞などエポックメイキング的な功績を成し遂げた面もあるが、時代の救世主のイメージから遠離れた感が。

さらに本年 2010 年 11 月のアメリカ中間選挙では、反政府団体ティーパーティーの活動などにより、オバマ大統領に相当厳しい結果がもたらされました。**世界的な経済難を背景に、私たち一般人は、どこか心理的に時代の救世主を求めるようなところが強くなっているかもしれない。**

奇しくも、2010 年、木星は天王星と共に魚座に位置し、精神世界での功績が期待される一方で、ともすればこれは海王星の暴走、つまり「大迷走」を示す座相でした。スタートは太陽が山羊座に位置し、「そぎ落とされる」印象。菅内閣の事業仕分け、蓮舫大臣の純白のスーツにも象徴されているかのよう。との声もあったが、期待感が薄れていったのは、ご指摘の**海王星が水瓶座、魚座間を行きつ戻りつしたところ**に象徴されているのでしょうか。蓮舫大臣は本年 10 月、『VOGUE NIPPON』11 月号の表紙となった国会議事堂内でのグラビアアイドル顔負けの(?) 撮影問題でも世間をにぎわしていますね。

参加者が指摘された、土星と天王星との 180 度は 7 月。株価の暴落、止まらない円高など、市民の生活を圧迫し困窮させる事態に、政府が為替介入の決断を下したのが 9 月。「遅い」と指摘があったことが記憶に新しいですが、土星・天王星は依然としてタイトではないものの、180 度に近い凶角を維持している時期でした。参加者のご指摘通り、地球温暖化による猛暑にも注目です。

さらに 9 月 2 日、木星が牡羊座から魚座へバックして移行、その数日後の 7 日に、例の尖閣諸島の中国漁船問題。ここから日本は中国からのバッシング等苦戦を強いられました。**サインを移動する時に、時代が動くという感を得て、もう少しこの辺の研究を重ね、2011 年に生かしていきたい。**2010 年は、海王星の象徴も色濃く暗示されていたことにも絡みます。2011 年、海王星はいよいよ魚座へとサインを移動しますね。

年運の大元を司る木星が魚座に位置していた時期について、もう少し考察してみましよう。伝統的に、新興宗教が活性化されたり、スピリチュアルブームがもたらされると解釈される座相でもありますが、すでに社会は慢性的にスピリチュアルブームですが、メディアで「新しい葬儀のスタイル」が取り上げられ、生前より自らの葬儀を自由な式典として企画し予約する流行がかいま見られました。

ツイッター、シェア・ハウスの流行などもそうですが、今現在、希薄な人間関係が心地良いようです。長く培った友情関係などより、どこの誰ともわからないが気の合う人とアパートメントを共有する関係。直接向き合い対話することより、メールやネットでどこの誰ともわからぬ存在との交流が注目されるフシにも通じるのでしょうか。

これらには、**海王星が水瓶座に位置する座相の影響**もあるように感じられます。「新しいライフスタイル」の名を借りた単なる逃避現象のようでもあります。

また今年前半は「**ゲゲゲの女房**」ブーム到来だったと言えるのでしょうか。これも**木星 in 魚座、海王星 in 水瓶座**の象徴を感じるどころ。テレビや書籍から遠離っている人は何それ？というところかもしれませんが、ゲゲゲの鬼太郎という漫画を描かれた水木しげる氏について調べて下さい。この方は**戦争体験者**であり被災者であり、右腕を失われているいわゆる**障害者**の方でもあります。私たちが学ぶべき多くのことを経験から語ることが可能な方です。水木しげる氏が有名人だからではなく、こういう方々は万人の「先生」ではないかと考えています。

ちなみに、1961年から放送開始されたNHKの朝ドラですが、2010年より放送開始時間を午前8時15分から8時ちょうどに改まりました。時代の変化に対応して、とのことでしたが、一般的な始業時刻が午前9時からであれば、自然な成り行きで、ここにも木星、海王星の位置関係を感じませんか？

主催者としては、教えや学びとは、いや何であれ物事は、**当事者の精神性次第**だという感を得た2010年で、締めくくりのことばが「結局、本人次第だよ」であったことにも象徴されていた。物事をどうとらえ、どう考え、どう発信していくか、どこまで「自分を使えるか」なのでしょう。うまく使いこなすには、やはり自分自身を知ることありき。やっぱり「人」なんですよ、一生勉強、人間学なんです。

引き続き、2011年の年運をもう少し研究していきましょう。

3 - 2011 年の世相を占断する

木星が牡羊座に入り、引き続き軍事情勢が話題に。2010 年中においても緊張した普天間基地移設問題、日中関係、北朝鮮問題等、注目すべき要素にあふれています。

この筋の関連で、3/6 に天王星が牡羊座に移動する辺りに、ひとつ軍事的な事件が勃発する可能性あり。また強硬な手段に出てくるアジア圏内の動きがあるのかもしれませんが。

事態が落ち着きを見せるのが、木星が牡牛座に入る 6/5 前後。経済力を武器にした抑止力が功を奏するきざし。ミサイルがいつ飛んできてもおかしくないような状況ですが権威性を示しているだけなのでしょうか。所詮「諸国は持ちつ持たれつ」だという結論が通れば、筆者としても嬉しい限りです。

最も注意したいのが、6/5~13 の政変です。内閣府の波乱、党の分裂と統合等、国内の政局が一転する可能性が。木星と土星とがインコンジャンクトに近いところからは、人の生命と地球の資源に関する変化とも言えるのでしょうか。現状で環境問題も劣悪、食や健康が脅かされており、これ以上のこととなると相当不安ではあります。いずれにしても、日々の暮らしにダイレクトな変化がもたらされるでしょう。

7月にまた昨今増えている猟奇的な事件の可能性。2010 年は一時期空の事故が多発しましたが、類似の事件かもしれません。9、10、11 月は、福祉や社会保障に関する制度の改正、新しい規約や法案に焦点が。

* 流行するモノは？

AKB48、市川海老蔵がまだまだ有力

スケート、ゴルフ等引き続きスポーツ界の若手人気選手が活躍。格闘技界から新しいスターが登場しそう

* 流行するファッションは何？

昔の流行を新しくして名前を変える

Ex) 昔のスパッツ→ レギンスとして再び流行という感じの現象がもっと

* ブレイクして話題になる芸能人は？

カバーソングが得意な方、演歌に期待。でもド演歌ではなく、坂本冬美の「まだ君に恋してる」「アジアの海賊」のような新感覚のもの。

* 景気は上がりますか？

金融、不動産業界の大手起業から上向きになる可能性を感じる。しかし起業と消費者の意識にズレが。派手さのない「大人の高級志向」に対応する商戦が強そう。